

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1290900651		
法人名	株式会社 ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート前原東(1階)		
所在地	千葉県船橋市前原東5-42-35		
自己評価作成日	平成31年2月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a>
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階		
訪問調査日	平成31年3月7日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

家庭的な雰囲気大切に、お客様の『終の棲家』として、安心して暮らし楽しいと感じて毎日を送っていただくことを目標にサービスを行っています。季節に合わせた行事や外出にも力を入れており、ご家族様にも参加にご協力頂いています。また日々の暮らしの様子がご家族様にも見えるように「ガーデンコート通信」を毎月送付させて頂いています。また、職員に対して毎月研修内容を変え、時には外部研修受講の機会を設けケアの質の向上を目指しています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

開設3年目を迎え、地域とも良好な関係を築き地域に根差した運営を目指して日々取り組んでいます。今年度は新管理者の下で、家庭的な雰囲気大切にし利用者が安心して生活が送れる環境、さらには家族の方も安心して利用者を預けることができるホームを目指していく事を大切な考えの一つに掲げています。職員の笑顔やホーム内の衛生面など一つ一つの取り組みを大切にしてい事を全体で共有しています。今後に向けては、これまで築き上げてきた地域との関係を生かしさらなる地域交流の充実を目指していくと共に、医療機関との連携もより高め、お客様の安心感をさらに高めていく事を目指しています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社是・経営理念・心得の唱和の実施している	法人の社是、経営理念、心得を事務所内に掲示しているほか、会議や研修前の唱和を通じて共有化に努めています。今後は所長の考えを文言化し、ホームの目標についての共有化も目指しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会行事への参加、近隣住民へのあいさつを励行	自治会長から夏祭りや敬老会、小学校の運動会などの情報提供を受け利用者と一緒に参加や見学に出向き地域の方と交流を図っています。ホームで納涼祭を開催するときには地域のボランティアなど地域の資源も効果的に活用しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議では日々の様子をスクリーンで見えいただき、毎日の散歩を通して地域の方との交流を図るなど行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	意見や提案を頂きサービスの向上に努めている。	会議には自治会長、地域包括支援センター、在宅支援センター、民生委員、薬局、利用者家族等の参加を受け2ヶ月に一度定期的に開催しています。会議ではホームの取り組みをスライドを活用しての報告、さらに参加者との意見交換を通じてサービス向上に努めています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターからアドバイスを頂いたり、相談を受けることもある。	運営上相談が必要なケースにおいては、市の担当課に連絡を入れ指示を仰いでいます。事業所側からの質問には丁寧に回答を受けることができます。また地域包括支援センターや在宅介護支援センターからの協力も得ることができています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	帰宅願望の強い方に対しては気分転換を図る為に外出したり、時間をかけて傾聴するなど対応している。	身体拘束の廃止及び適正化に向けてホーム内で年3回、身体拘束や虐待防止研修を実施し職員の意識を高めています。現状ホーム内において身体拘束につながる事例の発生はありません。	身体拘束廃止に向け内部研修等により職員の意識を高めています。今後に向けては身体拘束適正化のための指針の明確化を図り、身体拘束廃止委員会のより充実化を期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に研修を行い虐待に対する意識を確認している。		

グループホームガーデンコート前原東(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	複雑な制度の理解は一度に習得できるものではなく、研修を何度も繰り返しながら理解を深めていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	誤解のないように説明をしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の来所時やケアプランの更新時に意見や要望等をお聞きし、運営に反映している。	家族からの意見や要望については面会時に直接伺うほか、法人全体で年に一度顧客満足度調査を実施しています。家族から表出された意見を踏まえて改善計画書を作成し改善につなげています。利用者からの意見については日常会話から収集しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	従業員とは定期的に面談をしており、その際に聞き取りまたはアンケートを実施している。	管理者は定期的に職員と面談する機会を設けており職員の意見や要望、現状の確認を定期的に行っています。定期面談以外にも日頃からの声かけや毎月の会議を通じて意見や要望等を表出できる場を設けています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談を定期的に実施している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の今後の目標や現在の状況を把握し、モチベーションを上げるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会や介護支援専門員の研修会に参加している。		

グループホームガーデンコート前原東(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	しっかりアセスメントを行うことで本人の情報を多く収集し理解に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族にこれまでの経緯や要望等を傾聴し、今後もここで生活をするご家族、ご本人にとって安心していただけるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今のご本人は何が出来て何が出来ないのかを見極め、必要なサービスとそうではないサービスを考えながら対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の得意なこと、出来ることを見つけて役割を持っていただき、共に行っていくようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の今までの努力と苦労をねぎらいながら、いつでも気負うことなく面会に来ることが出来る環境を作っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも面会できるように受け入れを整えている。	これまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係継続の支援に向けて友人の来訪の受け入れやこれまで趣味としていた編み物に取り組んで頂いたり、馴染みの美容室に家族の協力を得てお連れ頂くなど、関係性の継続に向け取り組んでいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	特別に体調に異変がない限り、出来るだけフロアで皆さんと過ごしていただき孤立しないように努めている。		

グループホームガーデンコート前原東(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	転居されても身体状況やご家族のメンタル面については及ばずながらもフォローしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントには時間をかけご本人のさまざまな思いをくみ取るようにしている。	利用者からの意向や要望等については、職員が日常会話から収集し、日々の支援に活かしています。また、ケアプランの更新及び見直し時にはアセスメントを実施し、利用者の現状や課題、思い等を抽出しケアプランに反映しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	上記と併せご家族様からも情報を収集している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	フロア内のスタッフと一緒に情報を共有しお客様の状態把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議を設け安心して生活していただけるよう情報や意見を交換している。	アセスメントで抽出した結果を踏まえ、担当者会議において職員、家族の意見を収集し、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランで掲げた目標の達成状況は毎月のモニタリングで確認しています。	今後に向けてはケアプランの作成及び見直しにあたっては主治医や看護師など多職種の意見も踏まえて作成できると良いと考えます。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日朝・夕と申し送りを行い職員間で情報の共有を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	人員の配置状況によるが問題がない限りは、自動車等も使い外出を行っている。		

グループホームガーデンコート前原東(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	傾聴や囲碁・ダンスなどボランティアをお願いしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月2回の訪問診療を実施し、必要に応じて通院の支援も行っている。	現在5か所の医療機関と連携を図っています。月2回の往診を通じて連携し、利用者が必要な医療を受けられる体制を築いています。提携先医療機関とは常時連絡が取れる体制を築いています。また訪問歯科も受け入れ必要な医療を受けられる体制としています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員では対応が出来ない処置に関することなどは訪問介護事業所に相談している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は経過を伺う為に訪問したり退院の際は受け入れ態勢を相談し、支援を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時には重度化や終末期について説明している。またご本人の状態に変化があった場合にも早めにご家族とかかりつけ医が今後の事を検討できるように面談の機会を設定している。	重度化や終末期に向けた方針については、利用契約の際にホームとして取り組めることを家族に説明し方針を共有しています。ホームで生活を送る中で重度化が見られる際には、主治医、家族と今後の方針について再度検討していくこととしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時には緊急連絡網に従い行動している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回を実施している。	平成30年7月に消防署立会いの下で日中の火災を想定した避難訓練を実施しています。平成31年3月には夜間の火災を想定した訓練を実施し、町会長や近隣の方にも協力を得て実施しています。災害に備えて備蓄品も整備されホーム内に保管しています。	

グループホームガーデンコート前原東(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	なれなれしい言葉使いや行動を慎み、トイレや風呂などの際にはプライバシーを重視するようにしている。	介護=サービス業であるということを全職員に管理者から周知を図り、利用者に対して適切な対応が図れるように取り組んでいます。トイレ誘導時の声掛けや居室への出入りについても羞恥心やプライバシーに配慮し不適切な対応にならないように取り組んでいます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご自分で選択できるように声かけしたり或いは代替を用意している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人のペースを優先しご本人の希望ができるだけかなうよう個別に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣服に汚れがあれば洗濯を、ご本人が気づいていない口や目の周りにも注意している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの出来ることを周知し、出来り方に出来ることを行っている。	毎月食事レクの日を設けており利用者からのリクエストをメニューに反映したり、毎週水曜日に移動パン屋を利用する等食事の楽しみの幅を広げています。日々の食材は食材業者から食材を仕入れていますが果物や乳製品なども補足しバランスの取れた食事メニューを提供しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は毎回介護記録に記入し、全員で今の状況を把握し、変化が生じればその都度カンファレンスを行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎回の食事後には全員の口腔ケアを実施している。		

グループホームガーデンコート前原東(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別に対応し、排尿・排便の時間・間隔・量・形状等を毎回記載している。	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌内の所定欄に排泄に関する記録を残しています。利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳酸菌飲料の提供や、定期的な運動を促している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	2～3日に1度の間隔で入浴を実施している。	利用者の体調を考慮し週に2～3回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助につき安全に入浴できる体制としています。また、ゆず湯や菖蒲湯などの季節風呂や各種入浴剤なども使用し、入浴の楽しみにつなげています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜の逆転が起きないように、日中は出来るだけ活動を促し、メリハリのある生活を提供している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時には薬剤師、CMも交えて状態報告を行い確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外出や行事の機会を作り気分転換を図っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	普段は散歩を兼ねて買い物に出かけたり、またご本人のたつての希望で遠方でありる場合はご家族の了承を得て職員と一緒に外出を実施することもある。	天候や気候の良い時期にはホーム周辺の散歩にお連れしたり、外出行事を企画し近隣の公園に出かけたり、家族の協力を得て外出する等戸外に出かけられるように取り組んでいます。今後は近隣の観光名所への外出を予定しています。	



グループホームガーデンコート前原東(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族からお預かりしている中で応じている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話のかけ方が解らない、手紙の書き方が解らないなどの方へも対応している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	心地よい明るさ、快適な気温と湿度に配慮し季節感を感じていただけるような演出を工夫している。	共用の空間は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者の数よりも多めの席を準備しており、ソファ・椅子自分で選べるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自分にとって馴染みのあるものを持ち込んでいただき、安心して過ごしていただけるようにしている。	居室は、利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものの持ち込みを可能とし、利用者が居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ひとり一人の「できること」「わかること」を見つけ、こちらから作業等をお願いすることでそれぞれの役割を感じて生活できるようにしている。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1290900651		
法人名	株式会社 ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート前原東(2階)		
所在地	千葉県船橋市前原東5-42-35		
自己評価作成日	平成31年2月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a>
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階		
訪問調査日	平成31年3月7日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

家庭的な雰囲気を大切に、お客様の『終の棲家』として、安心して暮らし楽しいと感じて毎日をご過ごしていただくことを目標にサービスを行っています。季節に合わせた行事や外出にも力を入れており、ご家族様にも参加にご協力頂いています。また日々の暮らしの様子がご家族様にも見えるように「ガーデンコート通信」を毎月送付させて頂いています。また、職員に対して毎月研修内容を変え、時には外部研修受講の機会を設けケアの質の向上を目指しています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

開設3年目を迎え、地域とも良好な関係を築き地域に根差した運営を目指して日々取り組んでいます。今年度は新管理者の下で、家庭的な雰囲気を大切にし利用者が安心して生活が送れる環境、さらには家族の方も安心して利用者を預けることができるホームを目指していく事を大切な考えの一つに掲げています。職員の笑顔やホーム内の衛生面など一つ一つの取り組みを大切にしてい事を全体で共有しています。今後に向けては、これまで築き上げてきた地域との関係を生かしさらなる地域交流の充実を目指していくと共に、医療機関との連携もより高め、お客様の安心感をさらに高めていく事を目指しています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社是・経営理念・心得の唱和の実施している	法人の社是、経営理念、心得を事務所内に掲示しているほか、会議や研修前の唱和を通じて共有化に努めています。今後は所長の考えを文言化し、ホームの目標についての共有化も目指しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会行事への参加、近隣住民へのあいさつを励行	自治会長から夏祭りや敬老会、小学校の運動会などの情報提供を受け利用者と一緒に参加や見学に出向き地域の方と交流を図っています。ホームで納涼祭を開催するときには地域のボランティアなど地域の資源も効果的に活用しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議では日々の様子をスクリーンで見えただき、毎日の散歩を通して地域の方との交流を図るなど行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	意見や提案を頂きサービスの向上に努めている。	会議には自治会長、地域包括支援センター、在宅支援センター、民生委員、薬局、利用者家族等の参加を受け2ヶ月に一度定期的に開催しています。会議ではホームの取り組みをスライドを活用しての報告、さらに参加者との意見交換を通じてサービス向上に努めています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターからアドバイスを頂いたり、相談を受けることもある。	運営上相談が必要なケースにおいては、市の担当課に連絡を入れ指示を仰いでいます。事業所側からの質問には丁寧に回答を受けることができます。また地域包括支援センターや在宅介護支援センターからの協力も得ることができています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	帰宅願望の強い方に対しては気分転換を図る為に外出したり、時間をかけて傾聴するなど対応している。	身体拘束の廃止及び適正化に向けてホーム内で年3回、身体拘束や虐待防止研修を実施し職員の意識を高めています。現状ホーム内において身体拘束につながる事例の発生はありません。	身体拘束廃止に向け内部研修等により職員の意識を高めています。今後に向けては身体拘束適正化のための指針の明確化を図り、身体拘束廃止委員会のより充実化を期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に研修を行い虐待に対する意識を確認している。		

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	複雑な制度の理解は一度に習得できるものではなく、研修を何度も繰り返しながら理解を深めていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	誤解のないように説明をしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の来所時やケアプランの更新時に意見や要望等をお聞きし、運営に反映している。	家族からの意見や要望については面会時に直接伺うほか、法人全体で年に一度顧客満足度調査を実施しています。家族から表出された意見を踏まえて改善計画書を作成し改善につなげています。利用者からの意見については日常会話から収集しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	従業員とは定期的に面談をしており、その際に聞き取りまたはアンケートを実施している。	管理者は定期的に職員と面談する機会を設けており職員の意見や要望、現状の確認を定期的に行っています。定期面談以外にも日頃からの声かけや毎月の会議を通じて意見や要望等を表出できる場を設けています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談を定期的実施している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の今後の目標や現在の状況を把握し、モチベーションを上げるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会や介護支援専門員の研修会に参加している。		

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	しっかりアセスメントを行うことで本人の情報を多く収集し理解に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族にこれまでの経緯や要望等を傾聴し、今後もここで生活をするご家族、ご本人にとって安心していただけるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今のご本人は何が出来て何が出来ないのかを見極め、必要なサービスとそうではないサービスを考えながら対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の得意なこと、出来ることを見つけて役割を持っていただき、共に行っていくようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の今までの努力と苦労をねぎらいながら、いつでも気負うことなく面会に来ることが出来る環境を作っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも面会できるように受け入れを整えている。	これまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係継続の支援に向けて友人の来訪の受け入れやこれまで趣味としていた編み物に取り組んで頂いたり、馴染みの美容室に家族の協力を得てお連れ頂くなど、関係性の継続に向け取り組んでいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	特別に体調に異変がない限り、出来るだけフロアで皆さんと過ごしていただき孤立しないように努めている。		

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	転居されても身体状況やご家族のメンタル面については及ばずながらもフォローしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントには時間をかけご本人のさまざまな思いをくみ取るようにしている。	利用者からの意向や要望等については、職員が日常会話から収集し、日々の支援に活かしています。また、ケアプランの更新及び見直し時にはアセスメントを実施し、利用者の現状や課題、思い等を抽出しケアプランに反映しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	上記と併せご家族様からも情報を収集している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	フロア内のスタッフと一緒に情報を共有しお客様の状態把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議を設け安心して生活していただけるよう情報や意見を交換している。	アセスメントで抽出した結果を踏まえ、担当者会議において職員、家族の意見を収集し、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランで掲げた目標の達成状況は毎月のモニタリングで確認しています。	今後に向けてはケアプランの作成及び見直しにあたっては主治医や看護師など多職種の意見も踏まえて作成できると良いと考えます。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日朝・夕と申し送りを行い職員間で情報の共有を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	人員の配置状況によるが問題がない限りは、自動車等も使い外出を行っている。		

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	傾聴や囲碁・ダンスなどボランティアをお願いしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月2回の訪問診療を実施し、必要に応じて通院の支援も行っている。	現在5か所の医療機関と連携を図っています。月2回の往診を通じて連携し、利用者が必要な医療を受けられる体制を築いています。提携先医療機関とは常時連絡が取れる体制を築いています。また訪問歯科も受け入れ必要な医療を受けられる体制としています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員では対応が出来ない処置に関することなどは訪問介護事業所に相談している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は経過を伺う為に訪問したり退院の際は受け入れ態勢を相談し、支援を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時には重度化や終末期について説明している。またご本人の状態に変化があった場合にも早めにご家族とかかりつけ医が今後の事を検討できるように面談の機会を設定している。	重度化や終末期に向けた方針については、利用契約の際にホームとして取り組めることを家族に説明し方針を共有しています。ホームで生活を送る中で重度化が見られる際には、主治医、家族と今後の方針について再度検討していくこととしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時には緊急連絡網に従い行動している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回を実施している。	平成30年7月に消防署立会いの下で日中の火災を想定した避難訓練を実施しています。平成31年3月には夜間の火災を想定した訓練を実施し、町会長や近隣の方にも協力を得て実施しています。災害に備えて備蓄品も整備されホーム内に保管しています。	

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	なれなれしい言葉使いや行動を慎み、トイレや風呂などの際にはプライバシーを重視するようにしている。	介護=サービス業であるということを全職員に管理者から周知を図り、利用者に対して適切な対応が図れるように取り組んでいます。トイレ誘導時の声掛けや居室への出入りについても羞恥心やプライバシーに配慮し不適切な対応にならないように取り組んでいます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご自分で選択できるように声かけしたり或いは代替を用意している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人のペースを優先しご本人の希望ができるだけかなうよう個別に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣服に汚れがあれば洗濯を、ご本人が気づいていない口や目の周りにも注意している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの出来ることを周知し、出来り方に出来ることを行っている。	毎月食事レクの日を設けており利用者からのリクエストをメニューに反映したり、毎週水曜日に移動パン屋を利用する等食事の楽しみの幅を広げています。日々の食材は食材業者から食材を仕入れていますが果物や乳製品なども補足しバランスの取れた食事メニューを提供しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は毎回介護記録に記入し、全員で今の状況を把握し、変化が生じればその都度カンファレンスを行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎回の食事後には全員の口腔ケアを実施している。		



グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別に対応し、排尿・排便の時間・間隔・量・形状等を毎回記載している。	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌内の所定欄に排泄に関する記録を残しています。利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳酸菌飲料の提供や、定期的な運動を促している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	2～3日に1度の間隔で入浴を実施している。	利用者の体調を考慮し週に2～3回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助につき安全に入浴できる体制としています。また、ゆず湯や菖蒲湯などの季節風呂や各種入浴剤なども使用し、入浴の楽しみにつなげています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜の逆転が起きないように、日中は出来るだけ活動を促し、メリハリのある生活を提供している。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時には薬剤師、CMも交えて状態報告を行い確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外出や行事の機会を作り気分転換を図っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	普段は散歩を兼ねて買い物に出かけたり、またご本人のたつての希望で遠方でありる場合はご家族の了承を得て職員と一緒に外出を実施することもある。	天候や気候の良い時期にはホーム周辺の散歩にお連れしたり、外出行事を企画し近隣の公園に出かけたり、家族の協力を得て外出する等戸外に出かけられるように取り組んでいます。今後は近隣の観光名所への外出を予定しています。	

グループホームガーデンコート前原東(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族からお預かりしている中で応じている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話のかけ方が解らない、手紙の書き方が解らないなどの方へも対応している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	心地よい明るさ、快適な気温と湿度に配慮し季節感を感じていただけるような演出を工夫している。	共用の空間は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者の数よりも多めの席を準備しており、ソファ・椅子自分で選べるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自分にとって馴染みのあるものを持ち込んでいただき、安心して過ごしていただけるようにしている。	居室は、利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものの持ち込みを可能とし、利用者が居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ひとり一人の「できること」「わかること」を見つけ、こちらから作業等をお願いすることでそれぞれの役割を感じて生活できるようにしている。		